組合員とともに五島農業・地域の未来を拓く

JA ごとう

※２，３ページ掲載　食育活動のようす

ごはんぢゃワン©

CONTENTS 目次

☆TOP NEWS
青年部食育活動のようす
4 消費税インボイス制度について
6 第19回 年金友の会グラウンドゴルフ大会
7 11月期せり

12月号
JA ごとう
2022 No. 202

の秋で食農教育いました

米脱穀

魚目小学校では10月27日・28日の2日間で米の脱穀から天日干しを行いました。米の脱穀では昔ながらの足踏み式脱穀機を使い、大変ながらも笑顔で作業を行っていました。その後、脱穀した米は天日に当て、乾燥させていきました。

奥浦小学校 イモ掘り

奥浦小学校では11月2日にイモ掘りを行いました。JA職員の指導の下、皆で力を合わせてイモを掘り進め、たくさんのイモを収穫していきました。出来としては残念ながら豊作とはいかなかったものの、皆笑顔で楽しく収穫を行うことができました。

本山小学校 イモ掘り

本山小学校では11月10日にイモ掘りを行いました。青年部の指導を受けながら、皆楽しそうにイモ掘りを行いました。ある程度のイモを手作業で掘り進めたあと、トラクターを投入し残りのイモを掘ると、皆我先にとイモを一斉に拾っていました。

かんころ

11月21日は前月掘り取りをしたイモを使った「湯がきカンコロ」作りを行いました。掘り取って保管してあったイモを洗い、薄くスライスしてから釜で茹でていきました。

収穫

青年部各支部活動を行

盈進小学校

ソバ収穫

盈進小学校の児童は11月15日、青年部の指導の下、ソバの収穫を行いました。鎌を使って収穫を行った児童らからは、まだまだやりたいという声が上がる程楽しんでいた様子でした。収穫したソバは唐箕を用いて選別し、天日干しを行いました。

三井楽中学校

イモ掘り

三井楽中学校では11月9日、校舎裏の畑で、昨年よりも豊作となったイモの収穫を行いました。青年部の実演の後、実際にイモ掘りを行った児童らは、豊作もあってか皆大変そうな様子ではありましたが、笑顔で作業を行っていきました。

魚目小学校

魚目小学校

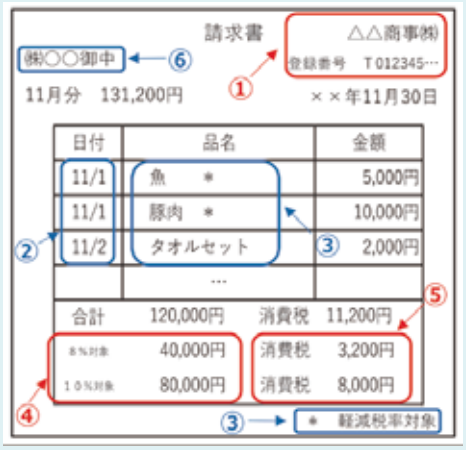
はじまります！

「インボイス制度」

消費税の確定申告では、消費税納税額から支払った消費税を差し引いて納税額を算出できる「仕入税額控除」という仕組みがあります。「インボイス制度」が始まると、この「仕入税額控除」が行えなくなる可能性があります。「インボイス制度」をしっかりと理解し、売り手（組合員）と買い手（消費者）とが、正しく消費税を納税できるようにしましょう。

インボイスって何？

適格請求書＝インボイスといい、正確な適用税率や消費税額などの**決められた記載要件を満たした請求書や領収書、レシートなど**のことを指します。



記載要件
①適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び登録番号
②取引年月日
③取引内容（軽減税率の対象品目である旨）
④税率ごとに区分して合計した対価の額及び適用税率
⑤税率ごとに区分した消費税額等
⑥書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

出典：国税庁｜適格請求書等保存方式の概要

インボイス制度とは？

令和５年１０月１日より施行される制度で、必要な要件が記載された適格請求書（＝インボイス）を用いて、消費税納税額の計算を行います。この制度が始まると、**インボイスに記載された消費税の分しか「仕入税額控除」を行うことができなくなります**。売り手側はインボイスを発行すること、買い手側はインボイスを発行して貰うことが必要となります。

インボイス制度による影響は？

納税額から支払った消費税を差し引くことができる「仕入税額控除」が行えなくなると、**消費税の納税額が増え**てしまいます。また、買い手側からすると納税額が増えてしまうことを嫌がり、**インボイスを発行できない売り手との取引を見直す**きっかけとなる可能性があります。

インボイスの発行方法は？

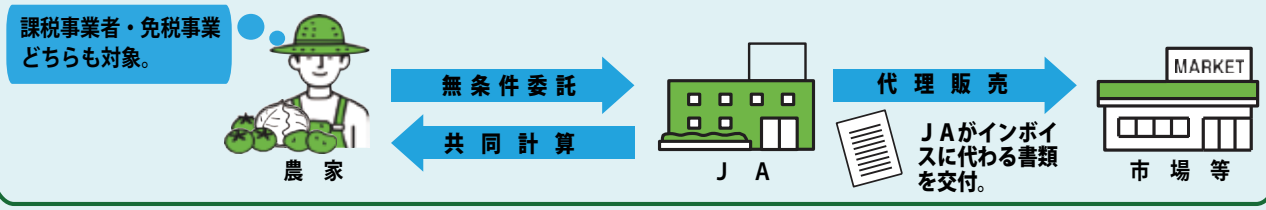
インボイスを発行できるのは、**消費税の申告を行っている「課税事業者」**に限られます。基準期間の課税売上高が１，０００万円に満たない**「免税事業者」はインボイスを発行することはできません**。「課税事業者」は税務署に申請を行い、インボイスの記載要件ある「登録番号」を発番してもらい、インボイス登録事業者として承認される必要がありでます。なお、免税業者が課税業者へ登録し、**インボイス登録業者になるかどうかは任意**となりますが、**登録業者になった後のインボイス発行については「義務」**となります。

ＪＡへの出荷は？

ＪＡに出荷している農畜産物については、**ＪＡが代理でインボイスを発行することが可能な特例**もあります。ただし、その特例ごとに必要な条件が定められています。

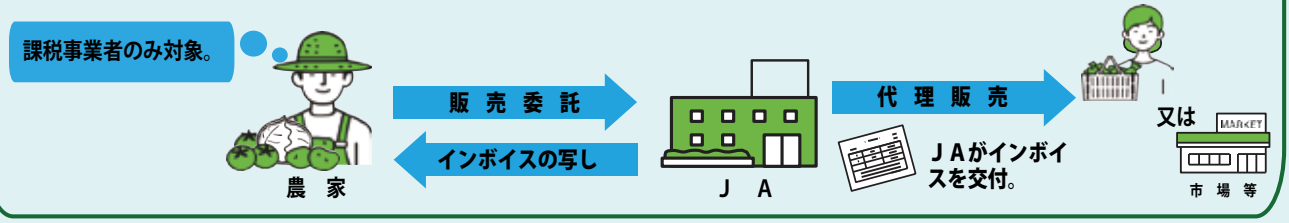
特例①　農協特例

組合員である生産者の農産物をＪＡ等が**「無条件委託方式」**かつ**「共同計算方式」**により精算する場合には、生産者は適格請求書発行事業者であってもインボイスの交付義務が免除されます。この場合、買い手は**ＪＡ等が発行する書類により仕入税額控除が可能**となりますので、**売り手がインボイス発行事業者であるかないかは関係ありません**。



特例②　媒介者特例

「共同計算方式」により計算のできない**セリ取引**や**直売所等への出荷**については、**売り手が「課税事業者」の場合**に限り、ＪＡが代理でインボイスを発行することができます。この特例の場合、**「免税事業者」についてはＪＡのインボイス代理発行がないため、買い手は「仕入税額控除」を行うことができません**。



国税庁ＨＰの「インボイス制度特設サイト」に制度の概要、Ｑ＆Ａや申請手続に関する情報を掲載しています。
詳細なお問い合わせは下記のＨＰまたはコールセンターへお問合せ下さい。
●国税庁ＨＰ　https://www.nta.go.jp
●軽減・インボイスコールセンター　0120-205-553(平日９：００～１７：００)

●国税庁インボイス制度特設サイトはコチラ

年金友の会 グラウンドゴルフ大会を開催

快晴に恵まれ健やかに

ＪＡごとうの年金友の会は十一月九日、坂の上にある五島市中央公園多目的広場において、第十九回年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は天気に恵まれ、暑いほどの秋晴れの中、総勢二一九人の友の会会員が練習の成果を発揮すべく、プレーを開始しました。同大会は一回八ホールを三回プレーし合計打数を競います。最高齢で九十二歳の森岩規さん（大浜支部・大浜親交会）を筆頭に、熱戦が繰り広げられました。

結果は木場支部「福江ナイスイン」の角田洋巳さんが見事優勝し、栄冠を勝ち取りました。続いて準優勝に崎山支部の「長手明生会」の中尾剛一さん、第三位には木場支部の「緑丘グラウンドゴルフクラブ」の藤原孝澄さんが輝いています。

準優勝　崎山支部の中尾剛一さん

2

優勝　木場支部の角田洋巳さん

1

第三位　木場支部の藤原孝澄さん

3

11月期せり

5期ぶりの価格上昇

十一月十三日、十四日の二日間において、令和四年度十一月期のせり市をJAごとう家畜市場で開催しました。今回のせりには、畜産農家一八六戸が子牛六二四頭、成牛五六頭を上場（うち売却六七八頭、本人二頭）し、子牛の最高価格は一一九万九〇〇〇円（去勢）、平均キロ単価は二二四五円となり、前回比で一五・七％高でした。また、成牛においては四〇万八三七五円の平均取引価格となり、前回比で約四六％高という結果となりました。畜産担当者は、「全国的に枝肉販売の価格が回復してきており、おかげで子牛相場の上昇に繋がった。県内の市場も平均価格六〇万円以上が相場となってきており、当家畜市場においても五期ぶりの値上がりという結果になった。今後も飼養管理の徹底を通じてよりよい牛を上場し、次回せりでも高値を維持できるよう指導していく。」と語りました。

令和４年11月期せり市成績表（子牛）　※税込、落札価格のみ税抜

性別	売却（頭）	落札価格（円）	最高価格（円）	平均価格（円）	kg単価（円）	平均体重（kg）	前回比（％）
メス	277	137,719,000	1,101,100	546,899	2,041	268	117.6
去勢	344	220,369,000	1,199,000	704,668	2,395	294	112.7
合計	624	358,088,000	1,199,000	633,982	2,245	282	115.7

長崎県産素牛3市場合同枝肉共励会

初の3市場合同開催

十一月十七日、佐世保食肉センターにおいて第一回長崎県産素牛3市場合同枝肉共励会が開催され、壱岐市農協産出の牛が3市合同となって初のグランドチャンピオン賞を受賞しました。同会は長崎県産素牛の品質の良さをPRするとともに、枝肉の調査検証を行い、購買者のニーズを子牛づくりに反映し、より良い素牛の育成を行うことを目的として開催されており、今回から3市場合同で行っています。

今回は壱岐家畜市場管内から一九頭、五島家畜市場管内から二〇頭、平戸家畜市場管内から三〇頭の計六九頭が出品されました。出品された枝肉は脂肪交雑や肉質をもとに審査され、六九頭のうち、六一頭が最高格付けのA5等級を獲得。その中でも、今回GC賞を受賞した山本満年さんの出品枝肉については、枝肉重量五九一・六キロでロース芯面積九一センチ、霜降り度合いの指標であるBMSは最高値である一二でした。また、各市場の優秀な牛一頭に贈られる市場賞については、壱岐家畜市場からは前田博孝さん、五島家畜市場からは喜々津昭さん、平戸家畜市場からは㈱近藤畜産さんがそれぞれ受賞しています。

第１回長崎県産素牛３市場合同枝肉共励会褒賞結果一覧

褒章	導入市場	産地名	出荷者名	繁殖者名	血統 父	血統 母の父	血統 祖母の父	性別	出荷体重	枝肉重量	BMS	格付け
G.C 賞	壱岐	壱岐市農協	山本　満年	山川　聖也	幸紀雄	華春福	安福久	去勢	854	591.6	12	A5
壱岐家畜市場賞	壱岐	長崎西彼（三重）	前田　博孝	長嶋真由美	喜亀忠	華春福	安福久	去勢	806	549.3	12	A5
五島家畜市場賞	五島	ながさき県央（東彼）	喜々津　昭	大里　久昭	百合幸	安福久	平茂晴	去勢	803	546.0	12	A5
平戸口家畜市場賞	平戸	ながさき西海（北中）	㈱近藤畜産	北川　廣海	勝乃幸	安福久	平茂勝	去勢	823	577.4	12	A5

いんげん部会

ＪＡごとうのいんげん部会は十一月十一日、令和四年産の出荷会議を行いました。令和四年産のいんげんは三二戸の生産者が、栽培面積八〇ヘクタール（露地四六ヘクタール、トンネル三〇ヘクタール、ハウス四ヘクタール）で栽培しています。お盆前から順次播種を開始し、八月中旬頃を中心に行われました。播種後は台風が連続で襲来し、茎がもまれるなどの被害はあったものの、その後の塩害等は最小限に抑えることができ、比較的順調に生育は進みました。十月十日に初出荷を行い出荷ピークは十一月下旬となっています。一月上旬まで出荷は続く予定となっており、いんげん二号、ステイヤー合わせて七五〇〇キロの出荷で、反収は一八三九キロを計画しています。

スナップ部会

ＪＡごとうのスナップ部会は十一月十一日、令和四年産の出荷会議を行いました。令和四年産のスナップは七八戸の生産者が栽培しており、栽培面積五二〇ヘクタール（ハウス一七九ヘクタール、露地三四一ヘクタール）となり前年の八一戸五八八ヘクタールよりも若干下回って栽培。早い圃場ではお盆前から播種を始め、八月二十日頃に最盛期となりました。九月に襲来した台風による支柱パイプの倒壊等の被害や、播き直しによる生育の遅れから、出荷への影響が懸念されましたが、その後の塩害等の被害は最小限に抑えられたことで順調に生育が進み、十月十日に初出荷を行いました。出荷ピークは十一月下旬を計画しており、一旦出荷は落ち着くものの三月中旬に二度目のピークを迎える計画です。

令和4年度 第3回「産直市場五島がうまい」出荷協力会役員会

産直市場「五島がうまい」の出荷協力会は十一月二日に令和四年度第三回目となる出荷協力会役員会を開催しました。会は第二十二回ＪＡごとう農業まつりの応援要請や、上地区店舗で販売する農産物の作付けについて、今後開催する研修会の内容等について協議を行いました。上地区店舗へ向けた農産物については、主要品目として馬鈴薯、大根、キャベツ、白菜などを挙げ、ただ出荷をするだけではなく品質にこだわり、産直市場の特徴である、安心安全で新鮮な商品を消費者へ届けようということで協議がなされました。研修会についてはコロナの状況を見ながら慎重に決定するとはしながらも、本年度は開催する方向で調整をするということで一致しております。行先については九州管内の直売所を目的地とし、年明けの開催を目指して検討するということになりました。

緑丘小学校の5年生が職場見学

十一月七日、ＪＡごとうに緑丘小学校五年生の児童約八〇名が、職場見学に訪れました。児童らは二班に分かれ、一班は本店二階の会議室で農産園芸部の職員からライスセンターについての説明を受け、もう一班は産直市場「五島がうまい」内の見学を行いました。会議室では、ライスセンター内でどのような工程で米の乾燥を行っているかなどを説明し、実際に籾付き・玄米・精米後の三種類の米に触れてもらい、違いを体験していました。直売所では、売場を回ってどのような商品が出荷されているかを見学したり、どのように商品が流通しているか職員から説明を受けました。どちらの会場でも児童らは、熱心に聞き入っている様子でした。

Aコープ浦桑店の誕生祭を開催
多数のご来場誠にありがとうございました!

産直市場
五島がうまい
正月用オードブル
12月25日まで
受付中！
限定100個
※7,560円（3人前）
※限定販売数量に達し次第締め切らせていただきます。
☎88-9933

A·COOP
浦桑店
だより
寿司・刺身・オードブル
予約受付中！！
12月25日まで
※画像はイメージです。
☎54-2500（Aコープ浦桑店）

令和四年度 第八回理事会

令和四年十一月二十二日㈫開催

次第

1 議案事項

議案No.1 出資金の減口について ※可決・承認された

議案No.2 JAごとうヘルプライン運営要領改正について ※可決・承認された

議案No.3 固定資産の取得について ※可決・承認された

議案事項 その他

2 報告事項

報告No.1 令和四年度第2四半期子会社の営業実績等について
①(株)JAごとう葬祭
②(株)JAごとう食肉センター
③(株)JAファームごとう

報告No.2 主な事業経過と行事予定について

報告No.3 主要事業十月末計画と実績について

報告No.4 産直市場「五島がうまい」十月末実績について

報告No.5 令和四年十月末食肉販売実績について

報告No.6 令和四年十月～十一月期県内家畜市場市況について

報告No.7 長崎県素牛三市場合同枝肉共励会の結果について

報告No.8 第二十二回JAごとう農業まつりについて

報告No.9 年末年始の営業について

報告No.10 令和四年度上半期事業実績及び年度末見込について

報告No.11 第六次中期経営計画進捗について

報告No.12 令和四年度上半期監事監査の結果について

報告No.13 令和四年度JA共済コンプライアンス点検結果について

報告No.14 令和四年度九月末資産査定結果報告について

報告No.15 貸付金の実行について

報告事項 その他

災害対策資金(ウクライナ情勢)

©よりぞう

ウクライナ情勢悪化に伴う原油価格・農業資材価格等高騰の影響により価格が高騰した資材等の購入に必要な運転資金としてご利用いただけます。

保証料全額助成！

借入時に一度お支払いいただきますが、後日全額返戻されます。

負担金利　年０％

期間：令和４年８月１日（月）～令和５年３月31日（金）

災害対策資金（ウクライナ情勢）の商品概要

借入金額：1,000万円かつ、所要額以内とします。

借入期間：５年以内とします。（据置期間は必要な場合に限り１年以内とします。）

返済方法：元金均等返済とします。

担保：原則として、担保は不要です。（必要に応じて設定させていただくことがあります。）

保証：原則として、長崎県農業信用基金協会の保証をご利用いただきます。法人の方は、代表者を連帯保証人とします。

年末年始の営業について

	一般業務	移動店舗	ATM	自動車・農機・LPG	給油所	JA グリーン	A コープ店舗	直売所	人工授精
12月30日(金)	平　常　業　務								
12月31日(土)	休　業（年末年始休日）		稼　働（本店・浦桑のみ）午前９時～午後５時	休　業（年末年始休日） （LPG は転送電話にて対応）	正午迄営業 SS 本店・有川 SS は午後３時迄	正午迄営業	午後５時迄営業	午後５時迄営業 （レストラン休業）	※～午前８時30分まで受付分→午前８時30分から授精 ※午前８時30分～午後２時まで受付分→午後２時から授精
1月1日(日)	休　業（年末年始休日）						休　業（下・若松店舗） 初売り（浦桑店）午前10時～午後４時	休　業（年末年始休日）	
1月2日(月)	休　業（年末年始休日）								
1月3日(火)	休　業（年末年始休日）			休　業（年末年始休日） （LPG は転送電話にて対応）	正午迄営業 SS 本店・有川 SS は午後３時迄	正午迄営業	休　業（年末年始休日）	休　業（年末年始休日）	
1月4日(水)	平　常　業　務								

施設作業員募集

作業期間	作業場所
3月～11月	育苗センター
3月～10月	アスパラ選果場
12月～5月	ブロッコリー選果場
12月～3月	高菜加工施設

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

富江トマト選果場作業員募集

作業期間　9月中旬～6月中旬
作業場所　山手トマト選果場
（富江ライスセンター横）

詳細は富江支店 営農経済課までお問い合わせください。
☎0959-86-2111

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する
株式会社JAごとう葬祭
斎場 浄倫会館
事前相談受け付けております。
【本店】
〒853-0041　長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211　FAX 0959(74)5266
【上五島支店】
〒857-4404　長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417　FAX 0959(43)1955

産直市場
五島がうまい
住所：〒853-0041　五島市籠淵町2450番地１
電話：0959-88-9933　FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～19時（4月～9月）
9時～18時30分（10月～3月）
※農家レストランは10時30分～15時（予約については別途）
※土日限定バイキング　11時～15時
料金　大人：1,200円　子ども：650円（小学生以下）
休業日：棚卸日（9/末、3/末）　年始（1/1・2・3）

編集後記

今月は農業まつりが開催されました。久しぶりにステージイベントを行ったこともあり、昨年よりも多数のお客様にご来場頂き、誠にありがとうございました。来月号で特集を組ませて頂きますので楽しみにして頂ければと思います。

今月号で私が作る広報誌も12冊目となりました。早いもので着任からもう１年。いろいろな場所でたくさんの方々に取材をさせて頂き、何とか１年経過することができました。まだまだ文章は拙く、たくさんの「赤ペン」を貰いながらの広報誌作成作業ですが、少しずつ要領をつかめてきたのかなと思っております。だんだんとイベント事も増えてきたこともあり、取材の幅をどんどん広げ、より「面白い」広報誌が作れるよう頑張りたいと思います。（長瀧　俊一）

ごとう農業協同組合
●ＪＡごとうNo.202　●発行／ごとう農業協同組合　編集／総務部企画管理課　〒853-0041　五島市籠淵町2450番地1　☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp　●印刷／(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。